



## *SERVICE Above Self* = 超我の奉仕

< RIテーマ >

2005-06年度 国際ロータリー会長

カール・ヴィルヘルム・ステンハマー (スウェーデン、イエーテボリ)

### 朋友ロータリアンの皆さん

2005-06年度、私たちは、確固たる基盤および羅針盤となる過去の成功の数々、そして意欲を引き出す豊かな歴史とともに、ロータリーの奉仕の第2世紀へと踏み出しました。私たちは過去の栄光に閉じこもるべきではありませんが、そこから学ぶことは、将来への確かな前進のエネルギーとなるはずです。

このことを念頭に置きながら、私は、自分の重要な使命を的確に表すテーマを選ぶべく、これまでの世紀にロータリアンが書き記してきた数々の叡智に満ちた言葉に目を向けました。私たちの思考を導き、行動を促すあらゆる感動的なメッセージの中でも、ロータリーの標語「超我の奉仕」の5文字ほど、的確にロータリーとロータリアンの精神を言い表している言葉はありませんでした。

私たちがロータリーの第2の百年の第1章を書き始める今年度に、国際ロータリーの会長となることができ、大変光栄に思います。この重要な年度のテーマとして「超我の奉仕」を選ぶことは、ロータリアンを鼓舞する最も意義深い言葉を使いたいという私の願望を反映しています。しかし、私はまた、ロータリーでの日々を簡素に保つ努力、すなわち、過去からの継続を維持しつつ、未来に向けてまっすぐな道のりを据えることが必要であるとの思いからも、このテーマを提案いたします。従って、私は、これまでに絶大な成果を上げてきた、人類の基本的ニーズを表す諸分野に焦点を当てたいと望んでいます。

このような分野の一つに、識字率向上と教育があります。一対一の取り組みから大規模な識字率向上プログラムに至るまで、ロータリー・クラブは、読み書きを学ぶ人々を助けるための数多くの素晴らしいプロジェクトを実施してきました。学校に教材を提供し、教師を教育し、子供たちに通学に必要な衣服や本を提供してきました。そして世界中の地域社会においては、ロータリアンが学校を訪問し、子供たちに本を読んで聞かせ、その逆に子供たちが本を読むのを聞いてあげてきました。

これら数多くの成功にもかかわらず、未だ無数の成人が、簡単な文の読み書きができず、実用的な識字能力を備えていません。つまり、通常の業務や毎日の生活に必要な読み書きや計算を行うことができないのです。この問題によって、自分をはじめ家族を養う上で非常に多くの人々に制約が課せられており、この問題への取り組みに、ロータリーの豊かな経験と継続的活動が必要とされているのは明白です。

2005-06年度を通じて、私は、世界各地でロータリアンが効果的に取り組んでいる問題、すなわち水保全に関連する活動も継続するようロータリアンに奨励していきます。ロータリー・クラブによる無数の水プロジェクトのおかげで、何十万もの人々が今や水を手に入れることができ、飲用水や適切な衛生環境による多くの保健上の恩恵を受けています。

しかし、未だ多くの課題が残されているのも事実です。あまりに多くの人々が安全な水の供

給を受けられず、適切な衛生環境に恵まれていません。その結果予防できるはずの水を介在とした感染症によって死ぬ必要のない多くの人々が死亡しています。水保全問題はまた、食糧供給にも影響を与えています。1人の人間が必要とする毎日の食事を生産するためには、2,000から5,000リットルもの水が必要とされているからです。国連は、この世界的な水の危機を「経済発展、貧困緩和、環境、そして平和と安全への脅威」と表現しています。飢餓を軽減し、この重要な資源が奪われている人々の保健と福祉を改善するために、ロータリアンの継続した活動が是非にも必要とされているのです。

識字率向上と水保全が注目すべき二つの緊要な問題であると私は確信していますが、その一方で、ロータリー・クラブもまたこれに優るさまざまな重要問題に取り組んでいることを承知しています。ロータリーの素晴らしさは、奉仕の機会を数多く提供してくれることにあります。クラブは地元地域社会のニーズを見極め、それを叶えるためにいかにしてその人材源や資源を生かすことができるかを判断します。この草の根の参加がロータリーの成功の特徴であり、私は、地元や海外の地域社会にとって最も有益となる奉仕を引き続き行っていただくよう、すべてのクラブに奨励したいと思います。しかしながら、これは一人で実行できることではありません。多くの場合、私たちは同じ理想や目標を共有する他団体と協力して活動することによって、地域社会のために多くを成し遂げることができます。年度の奉仕計画を立てられるにあたり、他団体と協力関係を結ぶことによって、クラブの活動をいかに広げることができるかを検討してみてください。

1911年、ロータリアンは「超我の奉仕」という標語を熱意をもって採択しました。それは、この標語が、生まれたばかりの組織が発展の途上にある中、その理想を巧みに言い表していたからです。それから95年間、この標語は、私たちが人道的奉仕を遂行し、高い道徳的水準を推進し、国際理解と平和のために活動する上で、

根底をなす動機となってきました。私たちの生活に内在するあらゆる事象と同じように、この標語を私たちは自然に受け入れることができます。来たる年度、すべてのロータリアンに「超我の奉仕」の真の意味をじっくりと考えていただく機会が与えられます。そして、この思いやりと寛容の精神に満ちた普遍的メッセージに、新たな思いを抱かれることになると思います。



カール・ヴィルヘルム・ステンハマー  
2005-06年度 国際ロータリー会長



---

# 超我の奉仕

2005-06年度 RIのテーマ

2005-06 年度

# 国際ロータリー会長賞プログラム

## 超我の奉仕

### クラブ会長各位

拝啓

ロータリーが奉仕の2世紀目を開始する今、私はロータリアンの皆さんが新たな決意をもってロータリーの伝統的理念に臨まれることに大きな期待を抱いています。「超我の奉仕」という概念に基づき、意義ある活動や奉仕プロジェクトを実施されるよう、私から各ロータリー・クラブをお願いしたいと存じます。このような活動を通じて個々の会員が職業倫理と個人の道徳観を深めるだけでなく、すべてのロータリアン、クラブ、地域社会、ひいては世界全体をさらに充実させることができます。

ロータリー・クラブの仕事は一人ひとりの会員が担うものでありそれぞれのロータリアンが直接奉仕活動に積極的に参加されることで、はじめてロータリーの仕事が意味をもち成果をもたらすのだと言えます。参加と計画、そして質の高い奉仕に焦点を当てた今年度の会長賞は、このメッセージを裏づけるものです。

貴クラブが会長賞の資格を得るためには、2005年7月1日から2006年4月1日までの間に、会員増強目標を設定し、さらに本要項に挙げられている5つの分野のうちの4つから各1つずつ活動を実行していただくようお願いいたします。クラブのすべてのロータリアンによって「超我の奉仕」の理想が余すところなく反映されるよう実施する活動の質は、クラブ会員の数と能力、そして会員の関心や技能に応じたものであるべきです。貴クラブがこれらをすべて満たしたなら、申込書に漏れなくご記入のうえ、地区ガバナーへご提出ください。ガバナーはこれに署名し、2006年4月15日までにRIに送付します。

本会長賞プログラムに参加されることで、貴クラブはロータリーの奉仕の第2世紀を成功へ導くために踏み出し、過去の功績の上に積み重ねていくことの大切さを実感されることと存じます。「超我の奉仕」の理想を実現するために尽くされたすべてのロータリアンの努力と熱意を称える2005-06年度会長賞を、貴クラブに授与できることを楽しみにしております。

敬具



カール・ヴィルヘルム・ステンハマー  
国際ロータリー会長

### 2005 06年度 ローターアクト会長賞

ローターアクト・クラブも、「超我の奉仕」を示す価値ある奉仕活動を実施することにより表彰されます。受賞資格を得るには、ローターアクト・クラブは、本要項に挙げられている活動の中から少なくとも3つの活動を実行しなければなりません。ただし、そのうち1つは社会奉仕、またもう1つは、国際奉仕に属するものでなければなりません。提唱ロータリー・クラブの会長とRI地区ガバナーは、ローターアクト会長賞申込書に署名し、RI世界本部に2006年4月15日までに提出して下さい。

## R I 会長賞プログラムに挑戦しよう

### 会員目標（必須）

会員1名かそれ以上の純増を達成するために、2006年4月1日までに会員勧誘計画を立て実施する。

### 公共的イメージ

RIウェブサイトにあるように、2005-06年度公共的イメージ推進グループの推奨する活動の1つに参加する。

クラブ協議会および会合を実施し、地域社会内でロータリーを推進する計画を導入する。

少なくとも2回、ロータリー・クラブの行事をマスコミに大々的に報道してもらう。

公共奉仕アナウンスメントを新聞に掲載したり、公共奉仕放送をラジオやテレビで放送してもらう。

RI広報賞の推薦書を地区ガバナーに提出する。

### クラブ奉仕

今年、クラブのすべてのロータリアンがクラブの活動に積極的に参加するよう一人ひとりに呼びかける。プロジェクト委員会の委員を務めたりクラブ奉仕のある面を担当するなど、参加の形は問わない。

クラブのロータリアンで広範囲にわたる様々なクラブ・プロジェクトやプログラムに積極的に参加した人を、四大奉仕部門功労者賞として表彰する。

今後3年から5年の長期計画目標について話し合うため、次期役員も含めたクラブの指導者を集めて会合を開く。

クラブ奉仕を支援する新しいプロジェクトを開発し、着手する。

### 職業奉仕

クラブの各会員に、国際ロータリーおよびクラブの活動に関する情報を職場や専門職業団体と共有するよう要請する。

職業奉仕は生活の質を向上させ、ロータリアンの高い倫理観と誠実さを支える大きな可能性を秘めている。クラブ例会の少なくとも2回をこのような職業奉仕に充て、話し合う。

国際レベルで、または地元の地域社会において、識字率向上やその他の教育プロジェクトを実施する。職業奉仕を支援する新しいプロジェクトを開発し、着手する。

### 社会奉仕

地元の他団体と協力して、クラブ会員が立案と活動へ直接に参加できる共同プロジェクトを行う。

地元地域で水プロジェクトを実施する。

世界ポリオ撲滅推進計画におけるロータリーの役割を広報してもらうために、地元報道機関に連絡を取る。

少なくともクラブ会員の半数が参加できる社会奉仕を支援する新しいプロジェクトを開発し、着手する。

### 国際奉仕

1人当たり米貨100ドルかそれ以上を目標に掲げ、ロータリー財団年次プログラム基金への寄付を増やす。

研究グループ交換、ロータリー友情交換、青少年交換といった国際交換プログラムに参加することによって、クラブの会員にロータリーの国際性を理解してもらうよう努める。

水保全や衛生に取り組む国際奉仕プロジェクトを実施する。少なくともクラブ会員の半数が参加できる国際奉仕を支援する新しいプロジェクトを開発し、着手する。

## カール・ヴィルヘルム・ステンハマー（スウェーデン、イエーテボリ R C）

## カール・ヴィルヘルム・ステンハマー氏、スウェーデン、イエーテボリ

2004-05 年度 国際ロータリー会長エレクト  
1996-98 年度 国際ロータリー理事  
1997-98 年度 国際ロータリー財務委員会委員長  
1997-98 年度 国際ロータリー監査委員会副委員長  
1998-00 年度 国際ロータリー監査運営審査委員会委員  
1987-88 年度 地区ガバナー

カール・ヴィルヘルム・ステンハマー氏は、国際的な製品の食品ブローカーであり、ガス ト F . プラット社の元オーナーです。ビジネスで活躍していた頃、ステンハマー氏は世界中を回りました。さらに、同氏は数社の理事および地元の私立学校の理事長を務めてきました。

ステンハマー氏は、1974 年以來のロータリアンです。氏は入会后すぐにロータリーのあらゆるレベルの活動に参加し、クラブ、地区、そして国際レベルで数多くの役職をこなしてきました。地区では、青少年交換委員会、会員選考委員会、スウェーデン・ロータリー青少年交換財団などの委員長を歴任しました。また、氏が所属する地区の国際ロータリー奨学金財団の会計を担当し、1987-88 年度には地区ガバナーを務めました。

青少年奉仕委員会に任命された 1991 年、同氏はロータリーへの国際奉仕を開始し、1993 年には同委員会の委員長、そして青少年奉仕実行グループの地区コーディネーターを歴任し、数々の国際ロータリー研究会のモデレーターも務めました。同氏は、フィンランドからアフリカまでの地域、米国、そしてインドまで、数多くの地区大会に R I 会長代理として派遣されました。1996-98 年度には R I 理事を務め、それ以来、執行委員会のメンバーや財務委員会委員長、監査委員会の副委員長などを歴任しました。

1998-2000 年度には R I の監査運営審査委員会の委員に、2001 年にサンアントニオ国際大会委員会の委員となりました。同氏はまた、1999-2000 年度地域雑誌編集者セミナーのモデレーター、2000-04 年度ヨーロッパおよび RIBI 恒久基金委員会の委員長、ストックホルムで開かれた 2003 年度会長主催祝賀会議の議長、2003-04 年度識字および教育推進グループの総コーディネーター、国別ポリオ・プラス担当顧問、およびポリオ撲滅提唱グループのメンバーを務めました。

ステンハマー氏は、1935 年 1 月 16 日、スウェーデンのイエーテボリに生まれました。1962 年にモニカ夫人と結婚し、2 人の息子、そして 2 人の孫息子と孫娘が 1 人います。ステンハマー氏はロータリー財団の大口寄付者およびベネファクターです。

